

広報

社会福祉法人清豊福祉会
育ちゆく子どもの輝きを…その翼にのせて

セバスト
ガチャヨウ号

Gosho Nursery And Children's Recreation Center

先月の子どもたち

笑顔いっぱい
みのりのこ！

No.271

1月号
2026



こども園便り 御所こども園

様子観察 十二月六日

こども園では、年四回、臨床心理士の坂上先生に子どもたちの様子を観察していただいています。また、保護者の皆様から寄せられる『子どもの発達がゆっくりでは?』『集団の中でお友だちと仲良く遊べているのかな?』といった悩みに対して、助言をいただいている。さらに、保育者に対しても、発達を促すための関わり方や支援の方法をご指導いただいています。



二〇二六年が始まりました。こども園には、今年の干支『午(うま)年』の先生が一名います! 午年生まれの方は、馬のように自由を愛し、スピード感のある決断力を持つ人が多いと言われています。本年度は残り三ヶ月、子どもたちが伸び伸びと成長できるように努めてまいります。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

明けまして
おめでとうござります



★イルミネーション★



暗くなると『キラキラ』と灯る光に心が癒されます。子どもたちが「わあー」と喜ぶ姿に、見ている私たちも幸せな気分になります。2026年も全員が健康に過ごせますように!



☆マラソン大会☆

12月1日は創立記念日です。保護者の方々の「がんばれ」の声援を受け、一生懸命走りきました。



(以上
主幹教諭
下窪)

給食便り

十五時の手作りおやつ

こども園では、毎日手作りおやつを提供しています。今年は園でレモンがたくさん実りました。収穫したレモンを使って、レモンケーキやレモンジャムヨーグルトを用意しました。子どもたちからは「皮がにがーい！」「レモンだけ酸っぱくない」など、様々な声が聞かれ、収穫の喜びを味わいました。

(以上、給食室 前田)



安心安全な食器・調理器具
こども園では、子どもたちが毎日安心して給食を楽しめるよう、衛生管理を徹底しています。食器だけでなく、調理器具やおぼんも高温殺菌乾燥機を使用し、殺菌・消毒を行っています。高温で殺菌し、十分に乾燥させることで、清潔な状態を保っています。今後も、安心・安全な給食の提供に努めます。

(以上、食育向上グループ 田尻)



食の安心安全

安心安全な食器・調理器具

子どもたちの安全を守るために
職員会議で『子どもたちの安全を守る方法』について研修を行いました。不審者対応については、まず距離を確保し、避難誘導・通報などの初動を徹底することを確認しました。併せて、身近なライトや傘の活用方法も学びました。今後も、子どもたちが安心して過ごせるように取り組んでいきます。

(以上、リスクコントロールグループ 石原)



安全便り

保健便り

保健指導 消化器のはたらきについて

今回は、食べた物がどこを通り、どのように形を変えていくのかを学びました。また、排便の状態から体調の変化に気づけることも知りました。

子どもたちが、消化器のはたらきに关心を持つて『食べる』ことを楽しみながら、自分の体を大切にしてくれる嬉しさです。

(以上、看護師 兼廣)



児童クラブ便り 児童クラブ未来



大根の種まき



キャッチダウン

(以上、クラブ長 高崎)

子どもたちには、自分の可能性に気づき、さまざまなことにチャレンジしてほしいと思います。そして私たち周囲の大人は、その思いを受け止め、積極的にサポートしていきたいのです。

(以上、放課後児童支援員 池田)

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎える、ご家族でどのようなお正月を過ごされたでしょうか。二〇二六年は、干支でいうと丙午（ひのえうま）の年です。火の気が重なるとされ、情熱や行動力を象徴する年ともいわれます。

昨年は、大阪・関西万博（EXPO 2025）が開催されました。実際に足を運んだ子どもたちからは、公式キャラクターのミヤクミヤクや各国パビリオンの話題がたくさん聞かれ、クラブでも大いに盛り上がりました。また、流行のダンスにも挑戦し、上級生が下級生に教える姿も多く見られました。

身近な人を大切にする気持ちを土台に、世界の人々の暮らしにも思いを寄せ、さまざまな国に関心を持つて視野を広げてほしいと願っています。馬が元気に駆け回るように、子どもたち一人ひとりが自分の目標に向かって前向きに進んでいけるよう、私たちも寄り添いながら歩んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

この時期の子どもたちは、「やつてみたい」「知りたい」という気持ちが高まる頃です。また、自分の感情を少しずつコントロールできるようになつていく時期でもあります。この時期に学んだこと、身につけたことは、その子の人生の財産になります。



羽ばたけ学童さん

昨年の春に入所してきた子どもたちも、あどけなさが少しづつ抜け、日々の生活の中で頼もしさも感じられるようになつてきました。入所当初は慣れない宿題に戸惑う様子が見られましたが、今では集中して取り組めるようになつています。自由時間になると、元気いっぱい上級生の遊びの輪の中へ飛び込んでいく姿も見られます。みんなお話が好きで、楽しく盛り上がりつたり、時にはちょっととしたけんかになつたりと、にぎやかに毎日を過ごしています。そして、それぞれの個性が互いに良い影響を与え合っています。

お正月の意味は？

学童新聞

1月号

お正月は、一年間の幸運をもたらすためにやつてくる年神様(おみやげ)をおもかえする行事です。

門松：年神さまがさがしやすいように家の日じるしとして置いています。

お年玉：年神さまがさがしやすいように家の日じるしとして置いています。

かがみもか：神さまへのバリアを作ります。

お年玉：もともとおそなえものでもあり、神さまが宿るものもあります。



△二〇二五年のいあばん△

①家の人口においてあるカブはなに？

②食べたとたんあらってしまって食べ物のなに？

③リウが話しているよ。どんな話？

④交番にいるカーナは、なに？

△イラストコーナー△

△うま年△ いちか。ちより

△年生△ 方はくに行つたことが心にのこっています。

△年生△ 十才の集いのし

△五年生△ ダンスの発表会

△五年生△ う来の夢の発表がとても

△四年生△ 楽しかったです。

△四年生△ う来の夢の発表がとても

△六年生△ 修学旅で三井ヶ

△六年生△ リーンランドに行つたこと

△六年生△ が楽しかったです。

△二〇二六年もみんなで樂

△二〇二六年もみんなで樂

記者 森山・長田・一氏



△お年玉△

おねしょは成長のしるし

親コラム

寒くなる季節は、子どもの『おねしょ』が気になる時期でもあります。朝、シーツが濡れているのを見ると「また…」と、ついがっかりしてしまうこともあるかもしれません、おねしょは体の発達と深く関係しており、多くの子どもが成長とともに自然とおさまっていくものです。子ども自身が「失敗しちゃった」と感じたときに、責めたり慌てたりせず、安心して次の夜を迎えるように寄り添うことが大切です。おねしょは、親子で少しづつ乗り越えていく過程のひとつ。今回は、家庭でできる工夫や気持ちが軽くなる関わり方について紹介します。



おねしょは、成長の途中では多くの子どもに見られるごく自然な現象です。寝ている間に膀胱の働きや脳の連携がまだ十分に発達していないために起こるもので、「頑張って我慢しよう」といった意志の問題ではありません。まずは、保護者の方が焦らず、気持ちを楽にして見守ることが大切です。叱ったり恥ずかしい思いをさせたりすると、子どもの自信を傷つけてしまうこともあります。おねしょをした日は「大丈夫だよ」「また次にトイレでできるといいね」と優しく声をかけ、安心できる雰囲気の中で眠れるよう心がけましょう。

生活リズムを整えたり、寝る前の水分を少し控えたりといった工夫も役立ちますが、多くの場合は成長とともに自然と落ち着いていきます。保育園でも、お子さんたちが安心して話せるように配慮しながら、家庭と一緒に心の育ちを支えていきます。



(以上、保育向上グループ)

今月の コラム

Gosho Baby News

このページは、御所こども園や御所季の子保育園の0、1歳児の子どもたちの様子やお知らせ、そして子育てに関する様々な情報をお届けするコーナーです！

固結びにトライ！

子どもたちは、日々の遊びや生活の中でさまざまな動きを通して手先の力を育んでいます。今回は、袋の口を結んだり、お弁当箱を包んだりするときに使う「固結び」に挑戦する子どもたちの姿や取り組みの様子をご紹介します。



①紐を交差させる



②輪をつくる



③ぎゅっと引っぱる

ほとんどの子どもが、途中で紐がほどけてしまったり、手の位置がわからなくなったりしていました。それでも少しづつできるようになってくると、「もう一回やってみる！」と何度も挑戦する姿が見られました。



紐結びは、大人が思う以上に複雑で、難しさを感じる子も少なくありません。それでも、繰り返し挑戦する中で、少しづつ動きがつながり、「できた！」と嬉しそうに見せてくれる瞬間が増えていきます。園では、日々の遊びの中でも指先を使う経験を重ね、無理なく楽しみながら身につくよう、子どもたち一人ひとりの姿を見守っていきます。

(以上、環境グループ)

保育園便り 御所季の子保育園

あけましておめでとうございます。
新しい年を迎えて、子どもたちは
それぞれのペースで園生活を楽し
んでいます。今年は、一人ひとり
の興味や『やつてみたい』という
気持ちをより丁寧に受け止め、そ
の挑戦を応援する一年にしていき
たいと思います。冬の遊びを取り
入れながら、子どもたちと一緒に元気に過ごしていき
ましよう。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

交通安全教室 十二月三日

園では交通安全教室を実施し、信号の見方や横断歩
道の渡り方を学びました。実際に歩く練習では、子ど
もたちが「右を見て、左を見て」と声に出しながら確
認する姿が見られました。日々の散歩や登降園時にも
生かせる、大切な学びとなりました。



健康便り

冬の感染症について

冬は気温が低く乾燥するため、風邪・胃
腸炎・インフルエンザ・RSウイルスなど、
さまざまな感染症が増える季節です。園で
は、次のような対策を行っています。

園での感染症予防

家庭で取り組めること

- ・朝の検温を行い、体調の変化を早めに確認する
- ・下痢・嘔吐・発熱・咳がある場合は、無理をせず休養する
- ・タオルやハンカチを持参し、こまめな交換を心がける
- ・十分な睡眠とバランスのよい食事で抵抗力をつける



（以上、保育士 諸隈）

園どご家庭が協力して取り組むことで、感染拡大をしつかり
と防ぐことができます。みんなで体調に気をつけながら、寒い
季節を元気に過ごしていきましょう。（以上、保育士 稲留）

給食便り

給食室の栄養管理について

給食室では、子どもたちが毎日元気に過ごせるよう、次のような取り組みを行いながら栄養管理をしています。

①年齢ごとの必要量に合わせた献立づくり

②季節に合わせた食材選び

③噛む力に合わせた調理の工夫

④アレルギーへの丁寧な個別対応

また、かぼちゃやさつまいもなど旬の食材を使つたメニューや、節分・ひな祭り・十五夜などの行事食を取り入れることで、「今日のご飯は何かな?」と食事が楽しみになるように工夫しています。これからも、安心して食べられる環境づくりとおいしく楽しい給食を通して、子どもたちの健やかな成長を支えていきます。



十二月の献立より パイナップルチーズケーキ



【材料】

□ホットケーキミックス……七五グラム

□卵……………三八グラム

□牛乳……………六五グラム

□油……………一八グラム

□パイン缶……………七五グラム

□クリームチーズ……………二三グラム

【下準備】

・クリームチーズと卵は常温に戻しておく

・パイナップルを四分の一程度にカットしておく

・オーブンを一八〇度に予熱しておく

【作り方】

①クリームチーズを、なめらかになるまでホイッパーで練る。

②①に溶きほぐした卵を入れて混ぜる。

③②に牛乳を加えて混ぜ、ホットケーキミックスを入れて混ぜる。

④③を型に流し入れて、カットしたパイナップルを上に散らす。

⑤④をオーブンで二二〇一五分ほど様子を見ながら焼く。

⑥串を刺して生地が付かなければ完成です。

(以上、栄養士 川田原)



御所季の子保育園のおともだち

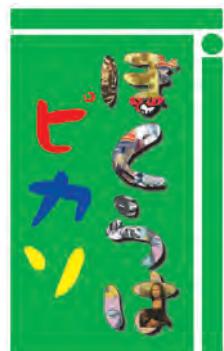


ホツと!!スナップコーナー



室内遊びでは工夫がいっぱい！

季節が進み、室内で過ごす時間が少しづつ増えてきました。子どもたちは積み木やままごと、お絵描きなど、それぞれの好きな遊びに夢中になっています。遊びの中には、指先を使った工夫や友だちとのやりとり、思いついたことを試してみる姿など、子どもたちの成長が随所に表れています。今回は、そんな室内遊びの様子を通して、子どもたちの姿や小さな成長の物語をお届けします。



ブロック遊び

3歳以上児クラスでは、ブロックで『家づくり』を楽しむ姿が見られました。子どもたちは、まず床や壁になるパーツを組み合わせ、倒れにくいよう土台づくりから取りかかります。「安定感が欲しい！」「窓はこっちがいい？」と友だち同士で相談しながら、部屋の配置を考える真剣な表情が印象的でした。



ままごと遊び

3歳未満児クラスでは、ままごと遊びが盛り上がっています。鍋やお皿を手に取ると、「ジュージュー」と言葉やしさを真似しながら、ごっこ遊びの世界へ入り込んでいきます。ブロックを食べ物に見立てたり、大きさや形を確かめてお弁当箱に詰めたりと、一人ひとりの工夫があふれています。



／倒れないように、バランスを取りたい＼



／丸いブロックがお団子みたいでしょ＼



／羽をたくさんつけたらいっぱい飛べるかも＼

（以上、保育士 岩井迫）

延長保育(特別保育事業) ～家庭と保育園で育ちを支える～

当園では、特別保育事業の一環として21時までの延長保育を実施しています。保護者の仕事と育児の両立支援、経済的な安定、時間的な余裕が生まれることでストレスの軽減に繋がり、子育てを楽しむ時間が生まれます。就労時間が遅くなるご家庭や、急な用事が入った際などにも、安心してご利用いただけます。短時間でも利用しやすい保育として、ご家庭での子育てに役立てていただけています。ご利用される時間帯、おやつや夕食の提供の有無により利用金額が変わりますので、詳しくはお気軽にお問い合わせください。



おやつ・夕食の時間

延長保育では、利用時間に合わせておやつや夕食の時間を設けています。少人数ならではの落ち着いた雰囲気の中で、友だちや保育者と一緒に「いただきます」「おいしいね」と会話を楽しみながら、家庭的な食事の時間を大切にしています。園で温かい食事をゆっくりととることができるので、帰宅後すぐに食事の準備をする負担が軽くなり、保護者の方にとっても大きな安心につながっています。



お迎えまでの時間

おやつや食事の後は、保育者と一緒に絵本を読んだり、静かな遊びをしたりしながら、自然と心がほぐれるゆったりした時間へと移ります。眠くなる子どもには、休息スペースを準備します。一人ひとりのペースに合わせて、お迎えまでの時間を安心して過ごせるように、丁寧に見守っています。



(以上、保育向上グループ)



小学生のわが子を見守りながら、成長とは本当に不思議なものだと感じています。身長はどんどん伸びるのに、机の上は相変わらず散らかつたまま。夜遅くなつてから片付けが始まり「宿題をする」と言いつつ、気付けばお菓子を食べながらドラマを見ていることも……。思わず「今、それじゃないでしょ」と言ってしまうこともあります。そんな中、帰宅が遅くなつた日には、洗濯物や食器がきれいに片付いていることがあります。ふとした瞬間に見える頼もしさに、成長を実感します。日々、家族でドタバタできるのも今だけの幸せ。ため息と笑いを行き来しながら、子どもたちの育ちに寄り添い、今年もにぎやかに過ごしたいと思います。

（岩井迫）

編集後記